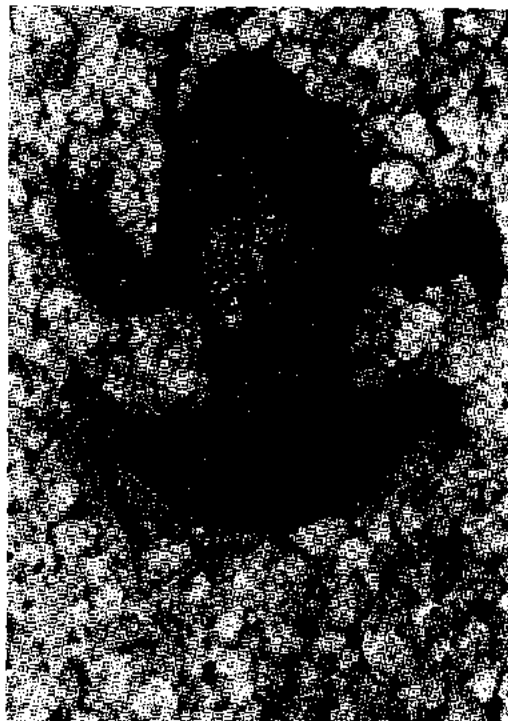




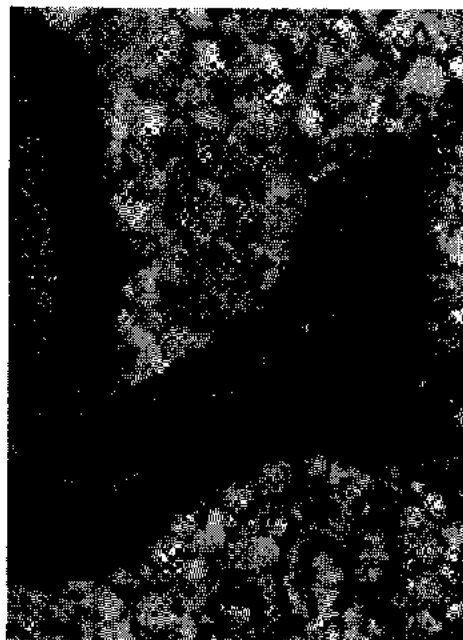
(1) 採集年月日 : 11 月 10 日
採集場所 : 埼玉県久喜市
異常肢の位置 : 左後短肢



(2) 採集年月日 : 11 月 12 日
採集場所 : 茨城県麻生町
異常肢の位置 : 4 肢指異常



(3) 採集年月日 : 11 月 19 日
採集場所 : 茨城県桜川村
異常肢の位置 : 右前短肢

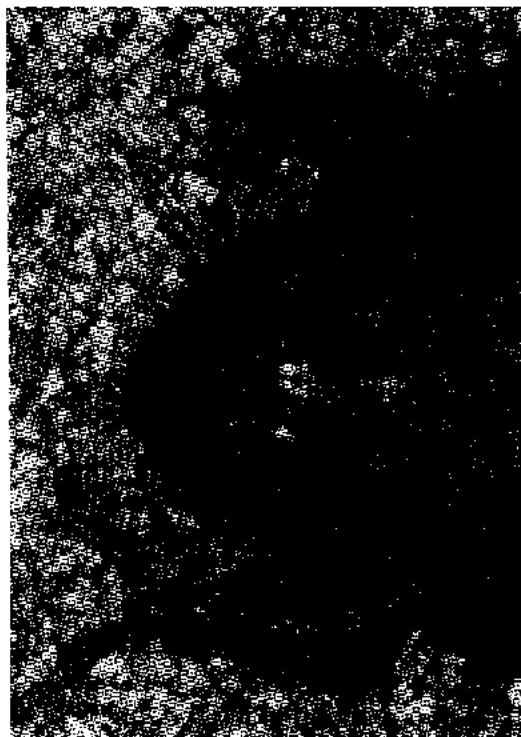


(3) の拡大図

図 1



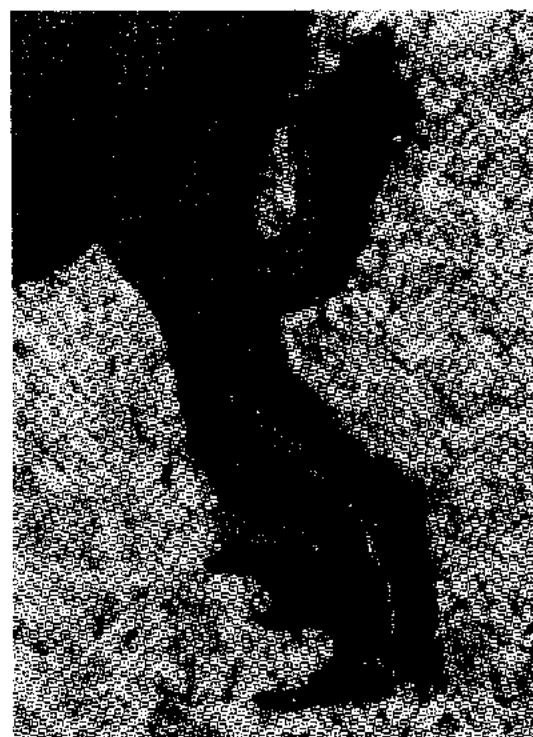
(4) 採集年月日 : 12月5日
採集場所 : 埼玉県久喜市
異常肢の位置 : 左右後肢指欠損



(5) 採集年月日 : 1月30日
採集場所 : 茨城県霞ヶ浦町
異常肢の位置 : 右前短肢



(6) 採集年月日 : 2月2日
採集場所 : 茨城県土浦市
異常肢の位置 : 右後2本肢



(6) の拡大図

図2

(d) 環境庁メッシュマップ番号: 5237-1647

磐田市近郊にある天竜川水系の一雲育川の33番池では、ウシガエルのオタマジャクシ10匹、成体1匹を捕獲した。昔はかなりの数がいたようだが、個体数が減少したのは、池の工事のため環境が激変し、さらに流入水路の流路変更で池の水がたまり、水質が悪くなったこと等の理由が考えられる。池周辺の草むらには、トノサマガエルとニホンアマガエルが確認できた。

(e) 環境庁メッシュマップ番号: 5237-2738
- 2739

掛川市森地区の山里の清流周辺の草むらには、カジカガエル、ニホンアマガエル、ツチガエル、トノサマガエルが多数生息していることを確認した。

(f) 環境庁メッシュマップ番号: 5237-1741

磐田市北部の敷地川からの農業用水路および周辺の田圃には、トノサマガエル、ヌマガエル、ニホンアマガエルが生息している。また、イモリやその幼生を確認したが、あまりりにも水が泥で濁っているため、イモリの生息には適さない環境になっている。

(g) 環境庁メッシュマップ番号: 5238-1223
- 1224

大井川河口の左岸に広がる草むらには、ツチガエルの生息が確認された。

(h) 環境庁メッシュマップ番号: 5238-37

修善寺地区。山田地区(5238-3792)、小室(5238-3794)には多数のアマガエルが生息している。また、中伊豆町の山間の姫之湯(5238-3719)では、ニホンアマガエルに加えて、シュレーゲルアオガエル20匹とイモリ5匹を確認した。

(i) 環境庁メッシュマップ番号: 5238-4311,
4323, 4344, 4352

静岡市北部の麻機(あさはた)地区周辺に

は、数百単位でヌマガエルが生息している。その他、ツチガエル、ニホンアマガエルも数十匹ほど確認できた。また、数は少ないがイモリの生息も確認された。より山添いの場所(4352)には、タゴガエルの卵塊、成体の抱接を観察した。鳴き声も多く聞こえたが、姿は殆ど見かけることはできなかった。

(j) 環境庁メッシュマップ番号: 5238-3354,
3355, 3376

静岡大学の裏山の谷では、タゴガエルの生息が確認された。日本平の吉田川沿いの平沢観音付近にはシュレーゲルアオガエルの鳴き声や卵塊が確認された。ニホンアマガエルは多く、100匹程度数えられた。イモリも生息しているがその数は、少なく、10匹捕獲できたにすぎない。

(k) 環境庁メッシュマップ番号: 5238-3264

静岡市西部の飯間地区の藁科川水系では、カジカガエルの一対が目撃されたので、この地域にはカジカガエルが多く生存していることが推測される。

(l) 環境庁メッシュマップ番号: 5238-4248,
4249, 4239

静岡市郊外の足久保地区の諸川池周辺には、トノサマガエル5匹、ツチガエル6匹、イモリを1匹捕獲確認した。また、トノサマガエル5匹、ニホンアマガエル30匹確認できた。1999年10月9日の調査では、この地域の4239で、50匹のイモリを確認できたが、その中に足の指数異常イモリを1匹発見した(図2)。この川の水には沢山の洗剤が流入している。

(m) 環境庁メッシュマップ番号: 5238-5380,
5370

この地域にはイモリ50匹、カジカガエル10匹を確認した。また、モリアオガエルの成体の姿は確認できなかったが、卵塊が木の枝にたくさんみられたので、かなりの数が生息していると推測される。同様にアズマヒキガエル成体は1匹しかみかけなかったが、多く

の卵塊が見られた。

(n) 環境庁メッシュマップ番号: 5238-5266

静岡市北西で安部川西の奥池ヶ谷地区ではカジカガエルのカスタネットをならしたような鳴き声が辺り一面にするので、その生息数は多いと推測される。

(o) 環境庁メッシュマップ番号: 5237-3753, 3742, 5238-30, 5237-38, 5237-39

犬竜犬居地区を流れる竜電沢付近で 2000 年 4 月にヤマアカガエルが確認された。これに隣接する家山地区の身成川に沿った水辺にもヤマアカガエル 5 匹を確認した。また、犬竜森地区すなわち掛川市の北部では、カエルの種類も豊富でカジカガエル、ニホンアマガエル、ツチガエル、トノサマガエルが生息しており、その数もそれぞれ 3~20 匹ほどを捕獲できたので、かなりの数の生息していることが窺える。

(p) 環境庁メッシュマップ番号: 5238-5178 および 5238-6169

さらに山奥の千頭や井川地区にはカジカガエルの鳴き声や姿 (1 対) や数匹のヒキガエルを口撃、毎年産卵に来る池を確認した。この周辺にはヒダサンショウウオが生息しているとの情報を得た。

②今後の展望

今回の調査で静岡県には、トノサマガエル、ニホンアマガエル、ウシガエル、ヌマガエル、ダルマガエル、ツチガエル、シュレーゲルアオガエル、モリアオガエル、タゴガエル、カジカガエル、ヤマアカガエル、アズマヒキガエルなどの無尾両生類 13 種、イモリ、ヒダサンショウウオなどの有尾両生類 2 種を確認できた (表 1 参照)。

日本には無尾類が 41 種類、有尾類が 21 種類生息し、その多くは沖縄諸島の島々に生息していることを考慮すると、静岡地方は両生類の生息には適した土地であることが分かる。特に、ダルマガエルは日本で殆ど見られなく

なっているので、静岡地方でこのカエルが観察されたことは、この地方がまだ汚染されていないことを示唆しており、自然の豊かさを長く守っていくことが重要と思われる。県の南半分の地域全域には、アマガエルが生息していることがわかった。陸生で小型のアマガエルは都会の庭先でもよく見かける。それに対し、比較的水に依存しているトノサマガエルやアカガエルの数の減少は著しい。人里離れた山間部の池や川辺に、モリアオガエル、タゴガエル、カジカガエルがまだ見られるのは救いである。ウシガエルとイモリに足の奇形をもつ個体が発見されたが、これが即、内分泌攪乱物質の影響であると断定できない。今後より詳しい調査、研究が望まれる。

2) 愛知・岐阜地区

①調査結果

調査地 : 愛知県中島郡祖父江町祖父江地内

調査期間: 平成 11 年 10 月~12 年 4 月

調査方法: 実地踏査と写真撮影

祖父江町は愛知県尾張地方西部、木曽川の東岸に位置しており、対岸は岐阜県である。人口は約 2 万 3000 人で、おもな土地利用は水田、畑地、雑木林、河川敷緑地、住宅地である。調査地は町内で最も住宅が密集している地域であるが、水田や用水路も見られ、無尾類が数多く生息している。調査期間中、多数のアマガエルおよびトノサマガエルの他、少数のウシガエルを確認した。住民からはニホンアカガエル、或いはツチガエルが見られるとの情報もあったが、実地では確認できなかった。今回の調査では、調査対象にできるカエルの種類と調査地点を決定することを目標とした。その結果、アマガエルとトノサマガエルの生息数が多いため対象種として適していることが分かった。また、調査地点として地区内の数か所を選定した。

アマガエルは昨年 11 月 19 日から本年 3 月 18 日までの間、鳴き声を確認できなかった。4 月下旬からはトノサマガエルが鳴いている様子がほぼ毎日確認できた。調査期間中、奇